

監修

石川 ふみよ (上智大学総合人間科学部看護学科教授)

高谷 真由美 (順天堂大学医療看護学部教授)

執筆 (五十音順)

厚美 彰子 (順天堂大学医療看護学部助教)

阿部 由香 (前日本保健医療大学保健医療学部看護学科准教授)

石川 ふみよ (前掲)

市原 真穂 (千葉科学大学看護学部教授/小児看護専門看護師)

伊藤 正恵 (心身障害児総合医療療育センター小児看護専門看護師)

鵜澤 久美子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院慢性疾患看護専門看護師)

漆戸 由紀子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院慢性疾患看護専門看護師)

大隈 直子 (独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 九州病院副看護師長)

岡本 隆寛 (順天堂大学医療看護学部准教授)

荻津 佳奈江 (順天堂大学医学部附属順天堂医院がん看護専門看護師)

尾崎 道江 (つくば国際大学医療保健学部看護学科教授)

河西 恵美 (順天堂大学医療看護学部助教/慢性疾患看護専門看護師)

加藤 かほり (東京都リハビリテーション病院慢性疾患看護専門看護師)

金子 多喜子 (杏林大学保健学部看護学科准教授)

熊倉 深里 (上智大学総合人間科学部看護学科助手)

小崎 綾子 (順天堂大学医学部附属浦安病院慢性疾患看護専門看護師)

酒井 礼子 (独立行政法人地域医療機能推進機構東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校副学校長補佐)

佐藤 典子 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター老人看護専門看護師/認知症看護認定看護師)

島途 漠 (上智大学総合人間科学部看護学科助手)

島村 純子 (独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 東京新宿メディカルセンター副看護部長)

下西 麻美 (順天堂大学医学部附属順天堂医院慢性疾患看護専門看護師)

住吉 由巳子 (順天堂大学医学部附属浦安病院慢性疾患看護専門看護師・糖尿病看護認定看護師)

瀬尾 昌枝 (順天堂大学医療看護学部助教)

高桑 優子 (順天堂大学保健看護学部准教授)

高谷 真由美 (前掲)

田村 南海子 (上智大学総合人間科学部看護学科助教)

富樫 恵美子 (千葉県立保健医療大学健康科学部講師)

中島 淑恵 (東京慈恵会医科大学医学部看護学科准教授)

長富 美恵子 (順天堂大学医学部附属静岡病院感染症看護専門看護師)

中富 利香 (東邦大学医学部新生児学講座博士研究員)

西川 瑞希 (上智大学総合人間科学部看護学科助手)

西村 あをい (東京情報大学看護学部教授)

林 幸子 (獨協医科大学看護学部講師)

樋野 恵子 (順天堂大学医療看護学部准教授)

古屋 千晶 (順天堂大学医療看護学部助教)

水谷 郷美 (神奈川工科大学健康医療科学部看護学科講師)

水野 芳子 (東京情報大学看護学部講師)

峯川 美弥子 (東京女子医科大学看護学部助教)

宮澤 初美 (順天堂大学医学部附属静岡病院慢性疾患看護専門看護師)

安井 大輔 (東海大学医学部看護学科講師)

山本 佳代子 (横浜創英大学看護学部看護学科教授)

渡邊 知映 (昭和大学保健医療学部看護学科教授)

編集担当 : 増田和也, 秋元一喜

表紙・カバーデザイン: 柴田真弘

DTP : 萩原夏弥, 真興社

イラスト : 日本グラフィックス

本書の特長と使い方

- 本書では、臨地実習や臨床現場でよく出会う疾患を75疾患に厳選してそれぞれ解説しています。
- さらに本書では看護学生や看護職の皆様により活用していただきやすいよう、看護過程を展開していく上で基礎知識となる医学的情報を最新のものとし、図表やイラストのできる限り見やすく、わかりやすく構成しています。
- 1つの疾患は、すべて共通して下記の流れに沿って解説されています。

1. 疾患の基礎的知識
2. 看護過程の展開 アセスメント～ゴードンの機能的健康パターンを用いて
3. 全体像の把握から看護問題を抽出
 - 1) 病態関連図
 - 2) 看護の方向性
 - 3) 患者・家族の目標
4. しばしば取り上げられる看護問題
5. 看護計画の立案

1. 疾患の基礎的知識

この項目では、1) 疾患の概念、2) 原因、3) 病態と臨床症状、4) 検査・診断、5) 治療、6) 予後、といった点を解説しています。その疾患に関する医学的な情報です。看護を考えるうえでのベースとなる知識といえます。

01

第1章 呼吸器疾患患者の看護過程

肺がん

1. 疾患の基礎的知識

1) 疾患の概念

肺がんとは、気管、気管支および肺に発生する悪性腫瘍の総称である。そのなかには、気管支から肺の壁に発生した気管支肺がんと、転移性肺がんがある。そして、原発性肺がんには上皮性の悪性腫瘍と、非上皮性の悪性腫瘍(肉腫)がある。

2) 原因

肺がんの危険因子としては喫煙などの生活習慣、アスベストなどの物質、放射線曝露などがある。また、近年、がんは遺伝子の病変といわれてきており、とくに肺がんのなかでも非喫煙者に生じることの多いタイプには、上皮成長因子受容体(EGFR: epidermal growth factor receptor)、転化リン(酪氨酸キナーゼ)ALK: anaplastic lymphoma kinase)、ROS1 (c-onc oncogene)などの、遺伝子変異が発見されている。そして、肺がんの多くは70歳以上で発病し、高齢者に多いことから、長期間をかけて、発がんに関与する刺激を受けながら発生する多段階発がんも考えられている。

3) 病態と臨床症状

肺がんの病理組織分類は2017年の「肺癌国際研究」の改訂によって、4大組織型に分類されている。肺がん、扁平上皮がん、腺癌、大細胞がんとなり、小細胞がんは特異的な組織型に含められ、組織学的には肺がんが最も多く、過半数を占める。なお、臨床的には、治療法の決定のため、小細胞がん(NSCLC: non-small cell lung cancer)と、小細胞がん(SCLC: small cell lung cancer)に分けられることが多い。がんの発生部位によって中細胞型(腺癌型)、末梢型(肺腺癌型)に分けられ、組織型と好発部位に特徴がある(表01-1、表01-1)。

TNM分類によって悪性腫瘍の進展度を分類する。これは、T期(Tumor: 悪性腫瘍の進展度)、N期(Node: リンパ節転移の有無)、M期(Metastasis: 遠隔転移の有無)からなり(表01-2)。

このTNM分類に基づいて臨床病期が明らかになり、治療方針の決定につながる(表01-3)。

肺がんには特異的な症状はなく、また、症状が出現したときには進行している場合が多い。発生部位や進行および転移の状況に応じて、呼吸および全身で多様な症状を呈するようになる。肺腺癌の場合には発症してから症状を呈するまでが長く、肺門部の場合には比較的早期から症状が現れる(表01-1)。

(1)増大、壊死、出血
気管支壁、肺壁への浸潤によって起こるが、これらはがん特有のものではなく、一般の肺疾患でもよく認められる。しかし、この増大、壊死、出血は、末梢型の肺がんでは、初期には無症状であることが多い。

(2)呼吸困難、胸痛
気管支、肺壁への浸潤、転移が生じることによって起こる。気管支、がん性胸膜炎、心膜炎を合併することで、胸水、心臓の圧迫も発生し、呼吸困難を起こす。浸潤が胸膜や肋骨、脊髄に及ぶと強い胸痛が現れる。

(3)体重減少、全身倦怠感、心浮腫
病態の進行によって出現するが、これらはほかの呼吸器の病気でもみられる。

肺がん特有のものではなく、一般の肺疾患でもよく認められる。しかし、この増大、壊死、出血は、末梢型の肺がんでは、初期には無症状であることが多い。

(2)呼吸困難、胸痛
気管支、肺壁への浸潤、転移が生じることによって起こる。気管支、がん性胸膜炎、心膜炎を合併することで、胸水、心臓の圧迫も発生し、呼吸困難を起こす。浸潤が胸膜や肋骨、脊髄に及ぶと強い胸痛が現れる。

(3)体重減少、全身倦怠感、心浮腫
病態の進行によって出現するが、これらはほかの呼吸器の病気でもみられる。

表01-2 肺がんのTNM臨床分類(2017)

T: 原発性腫瘍	
TX	原発性腫瘍の存在が特定できない。あるいは増大または気管支浸潤が肺野の大部分で観察されたり気管支浸潤が観察されない
T0	原発性腫瘍が観察されない
Tis	上皮内がん(carcinoma in situ): 肺腺癌の場合は、気管支径0.5cm以下で両側全肺野を占める腫瘍の気管支径≤0.5cm。肺がんは腫瘍組織に覆われている。悪性気管支より中葉への浸潤が気管支壁に認められない(すなわち主気管支に及んでいない)
T1a	気管支径≤1cmでかつTis、T1aには相当しない
T1b	気管支径≤1cmでかつTis、T1bには相当しない
T1c	気管支径≤1cmでかつTis、T1cには相当しない
T2	気管支径>1cmでかつTis、T2には相当しない
T2a	気管支径>1cmでかつTis、T2aには相当しない
T2b	気管支径>1cmでかつTis、T2bには相当しない
T2c	気管支径>1cmでかつTis、T2cには相当しない
T3	気管支径>3cmでかつTis、T3には相当しない
T3a	気管支径>3cmでかつTis、T3aには相当しない
T3b	気管支径>3cmでかつTis、T3bには相当しない
T4	気管支径>5cmでかつTis、T4には相当しない
T4a	気管支径>5cmでかつTis、T4aには相当しない
T4b	気管支径>5cmでかつTis、T4bには相当しない
T4c	気管支径>5cmでかつTis、T4cには相当しない
T4d	気管支径>5cmでかつTis、T4dには相当しない
T4e	気管支径>5cmでかつTis、T4eには相当しない
T4f	気管支径>5cmでかつTis、T4fには相当しない
T4g	気管支径>5cmでかつTis、T4gには相当しない
T4h	気管支径>5cmでかつTis、T4hには相当しない
T4i	気管支径>5cmでかつTis、T4iには相当しない
T4j	気管支径>5cmでかつTis、T4jには相当しない
T4k	気管支径>5cmでかつTis、T4kには相当しない
T4l	気管支径>5cmでかつTis、T4lには相当しない
T4m	気管支径>5cmでかつTis、T4mには相当しない
T4n	気管支径>5cmでかつTis、T4nには相当しない
T4o	気管支径>5cmでかつTis、T4oには相当しない
T4p	気管支径>5cmでかつTis、T4pには相当しない
T4q	気管支径>5cmでかつTis、T4qには相当しない
T4r	気管支径>5cmでかつTis、T4rには相当しない
T4s	気管支径>5cmでかつTis、T4sには相当しない
T4t	気管支径>5cmでかつTis、T4tには相当しない
T4u	気管支径>5cmでかつTis、T4uには相当しない
T4v	気管支径>5cmでかつTis、T4vには相当しない
T4w	気管支径>5cmでかつTis、T4wには相当しない
T4x	気管支径>5cmでかつTis、T4xには相当しない
T4y	気管支径>5cmでかつTis、T4yには相当しない
T4z	気管支径>5cmでかつTis、T4zには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5cmでかつTis、T4adには相当しない
T4ae	気管支径>5cmでかつTis、T4aeには相当しない
T4af	気管支径>5cmでかつTis、T4afには相当しない
T4ag	気管支径>5cmでかつTis、T4agには相当しない
T4ah	気管支径>5cmでかつTis、T4ahには相当しない
T4ai	気管支径>5cmでかつTis、T4aiには相当しない
T4aj	気管支径>5cmでかつTis、T4ajには相当しない
T4ak	気管支径>5cmでかつTis、T4akには相当しない
T4al	気管支径>5cmでかつTis、T4alには相当しない
T4am	気管支径>5cmでかつTis、T4amには相当しない
T4an	気管支径>5cmでかつTis、T4anには相当しない
T4ao	気管支径>5cmでかつTis、T4aoには相当しない
T4ap	気管支径>5cmでかつTis、T4apには相当しない
T4aq	気管支径>5cmでかつTis、T4aqには相当しない
T4ar	気管支径>5cmでかつTis、T4arには相当しない
T4as	気管支径>5cmでかつTis、T4asには相当しない
T4at	気管支径>5cmでかつTis、T4atには相当しない
T4au	気管支径>5cmでかつTis、T4auには相当しない
T4av	気管支径>5cmでかつTis、T4avには相当しない
T4aw	気管支径>5cmでかつTis、T4awには相当しない
T4ax	気管支径>5cmでかつTis、T4axには相当しない
T4ay	気管支径>5cmでかつTis、T4ayには相当しない
T4az	気管支径>5cmでかつTis、T4azには相当しない
T4aa	気管支径>5cmでかつTis、T4aaには相当しない
T4ab	気管支径>5cmでかつTis、T4abには相当しない
T4ac	気管支径>5cmでかつTis、T4acには相当しない
T4ad	気管支径>5

2. 看護過程の展開

アセスメント～ゴードンの機能的健康パターンを用いて

「ゴードンの機能的健康パターン」を基盤として、アセスメントを解説しています。対象者（患者やその家族）のどこに注目して情報を収集すればよいのか、なぜその情報が必要なのか（根拠）、実際に収集すべき情報内容、といった点を表形式でまとめました。

2. 看護過程の展開

- アセスメント～ゴードンの機能的健康パターンを用いて

[illegible]

第1章 評価対象利用者の看護過程

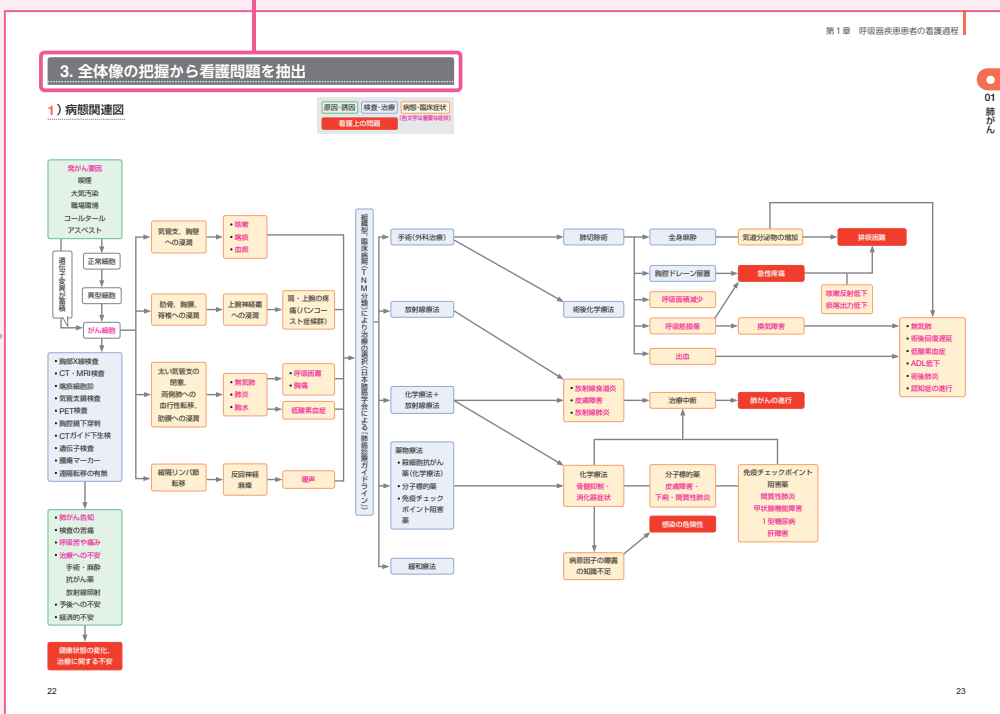
[illegible]

ゴードンの11のパターンを基盤としてはいるものの、11パターンをさらに「1患者背景」「2全身状態」「3活動・休息」「4知覚・認知」「5周囲の認識・支援体制」という5つの大きな枠組みも示しているので、ゴードン以外のさまざまなアセスメントの枠組みや理論にも応用・対応させることができます。



3. 全体像の把握から看護問題を抽出

この項目では、1) 病態関連図、2) 看護の方向性、3) 患者・家族の目標、という流れで解説しています。ここで病態関連図によってあらためて全体像を俯瞰するとともに、「1. 疾患の基礎的知識」と「2. 看護過程の展開 アセスメント」で学んだ内容をもとにして、実際に看護をする際の考え方(方向性)や、今後の目標の例を見いだします。



- 本書では、各疾患について、具体的な事例(特定の患者像)を設定して解説しているわけではありません。広く一般的で汎用性のある看護過程の解説書です。
- これから本書で看護過程を学ぶ皆さんには、本書を読み、解説されている内容を参照・参考にいただき、ぜひ、自分の目の前にいる対象者(患者やその家族)へのアセスメントや看護問題の抽出、看護計画立案、そして看護実践にお役立ていただけたらと思います。本書が、看護過程への理解を促し、自律的な視点を育むための一助になれば幸いです。

4. しばしば取り上げられる看護問題

2) 看護の方向性

がんは、初期では症状がなく、健康診断で発見されることも多い。また、死亡率の高いがんであるため、病名告知による患者の衝撃や治療への不安は大きい。発見されたときには転移し、その症状や病状が出現していることもある。まずは、患者と家族の病状と治療への理解度と、希望を知る。加えて、症状が出現しているときには速やかに苦痛を和らげて、安楽に療養生活を送れるように援助する必要がある。

進行期がんでは、症状管理や、発癌薬によって強い痛みが生じる。がんがんは、緩和療法として手術療法が選択されるが、手術後による痛みは強く、術後に挿入される胸腔ドレーンによる痛みも生じるため、疼痛緩和を積極的にに行い、非薬物療法や活動の低下が生じないように援助する必要がある。

がんの進行度や、高齢者がどうか、合併症の有無

などにより、放射線療法や薬物療法が選択される。その際、治療によってさまざまな副作用が起こる。放射線療法では皮膚、粘膜障害が生じやすく、嚥下障害が起こる。化学療法では嘔吐、下痢、骨髄抑制による好中球減少症からなる感染リスクがある。治療を中断すると、がん細胞が再発し、治療効果の減弱につながる。看護者は、治療計画が予定通りに実施されるのを確認し、副作用を積極的に予防し、副作用の予防に努める必要がある。

遺伝子治療や免疫療法など、近年さまざまな薬物が認可され、がんの死亡率は年々低下している。反面、新たな副作用も生じている。新しい治療について看護師とよく協議をもてほしい。患者が安心して療養できるように支援する必要がある。

3) 患者・家族の目標

患者と家族は、がんの病状と治療計画、起こり得る合併症や副作用を正しく理解し、医療者と信頼関係を築き、不安な療養生活を送る。

患者は、がんの症状、また、手術や治療による痛みや苦痛、治療による副作用を我慢することなく、速

かに緩和でき、安楽に過ごすことができる。

・患者と家族は、健康状態を維持し、治療計画が予定通りに進めるよう、感染対策、栄養、食事、活動など、必要な健康維持行動を自ら実施することができる。

4. しばしば取り上げられる看護問題

1 疼痛、身体的要因(胸腔ドレーン)により効果的な気道浄化は行えない

なぜ？

がんでは、気管、気管支への浸潤が起れば、咳嗽や痰、血痰などの症状が出現する。痰の停留は肺炎を拡大し、呼吸困難の増大や低酸素血症につながる。

進行期がんでは、神経浸潤や骨転移、手術で全身麻酔で行うことから呼吸筋の弛緩や副交感神経優位の疼痛から、気道浄化は困難化につながる。

また、胸水貯留や肺萎縮、術後の肺の膨張を妨げるため、胸腔ドレーンが挿入されると、ドレーンによる影響で呼吸を抑制し、排痰困難となりやすい。

これらは、がんだけでなく特発性や感染性であり、治療の併発である。早期に発見をし、不適切な安楽の管理を

もたらす。肺炎は肺炎の原因となり、低酸素状態は組織の回復を妨げる。

→期待される結果

医療や治療による痛みを緩和し、効果的な呼吸を行い、気道浄化をはかることができる。

2 化学療法による発熱状態、病原体との接触経路についての知識不足に起因した感染の危険性がある

なぜ？

がんでは、化学療法をはじめ、遺伝子治療や免疫療法など、さまざまな薬物療法が行われる。そして、使用される薬物によって、さまざまな副作用が出現する。

化学療法を継続後、10日～2週間後に出現する骨髄抑制から生じる感染リスク、薬剤が腸管粘膜を傷め、感染が起こると、改善するまで治療は中断され、がんの治療

この項目では、その疾患がある患者・家族において、取り上げられる代表的な看護問題を例示しています。なぜそれらの看護問題が抽出される可能性があるのか、それらの看護問題を取り上げる根拠を知り、看護計画を立てる際の判断材料を把握できます。

臨床現場で働く看護師が、どのような思考過程を経て、看護実践に臨んでいるのか、という点を意識して読むと、よりいっそうの理解が深まります。

5. 看護計画の立案

5. 看護計画の立案

・O-P: Observation Plan(観察計画) ・T-P: Treatment Plan(治療計画)
・E-P: Education Plan(教育・指導計画)

1 疼痛、身体的要因(胸腔ドレーン)により効果的な気道浄化は行えない

	原因	根拠と注意点
O-P	(1) 現在の呼吸状態 ①呼吸数、リズム、深さ、努力性呼吸、胸壁の動き ②痰の性状、量、色、粘稠度 ③SpO ₂ ④聴診、チアノーゼの有無 ⑤脈拍数の変化 ⑥胸部膨満感 (2) 手術後の状態 ①肺炎 ②呼吸器の感染、閉塞 ③胸腔ドレーン ④手術後の痛み、腫脹、圧痛 ⑤胸腔ドレーンからの分泌物の性状、色、におい (3) 合併症の発現 ①低酸素血症 ②呼吸器の感染、閉塞 ③胸腔ドレーンからの分泌物の性状、色、におい ④手術後の痛み、腫脹、圧痛 ⑤胸腔ドレーンからの分泌物の性状、色、におい	病状とがんの病状と大きさに伴って、さまざまな症状が出現する。気管や気管支への浸潤が起れば、咳嗽や痰、血痰などの症状が出現する。また、手術で全身麻酔を行ってからの呼吸筋の弛緩や副交感神経優位の疼痛から、気道浄化は困難化につながる。 <p>また、胸水貯留や肺萎縮、術後の肺の膨張を妨げるため、胸腔ドレーンが挿入されると、ドレーンによる影響で呼吸を抑制し、排痰困難となりやすい。</p> <p>これらは、がんだけでなく特発性や感染性であり、治療の併発である。早期に発見をし、不適切な安楽の管理を</p>
O-P	(3) 合併症の発現 ①低酸素血症 ②呼吸器の感染、閉塞 ③胸腔ドレーンからの分泌物の性状、色、におい ④手術後の痛み、腫脹、圧痛 ⑤胸腔ドレーンからの分泌物の性状、色、におい	病状とがんの病状と大きさに伴って、さまざまな症状が出現する。気管や気管支への浸潤が起れば、咳嗽や痰、血痰などの症状が出現する。また、手術で全身麻酔を行ってからの呼吸筋の弛緩や副交感神経優位の疼痛から、気道浄化は困難化につながる。 <p>また、胸水貯留や肺萎縮、術後の肺の膨張を妨げるため、胸腔ドレーンが挿入されると、ドレーンによる影響で呼吸を抑制し、排痰困難となりやすい。</p> <p>これらは、がんだけでなく特発性や感染性であり、治療の併発である。早期に発見をし、不適切な安楽の管理を</p>
T-P	(1) 疼痛や呼吸を減らすための援助 ①呼吸器の感染、閉塞 ②胸腔ドレーンからの分泌物の性状、色、におい ③手術後の痛み、腫脹、圧痛 ④手術後の痛み、腫脹、圧痛 ⑤胸腔ドレーンからの分泌物の性状、色、におい	病状とがんの病状と大きさに伴って、さまざまな症状が出現する。気管や気管支への浸潤が起れば、咳嗽や痰、血痰などの症状が出現する。また、手術で全身麻酔を行ってからの呼吸筋の弛緩や副交感神経優位の疼痛から、気道浄化は困難化につながる。 <p>また、胸水貯留や肺萎縮、術後の肺の膨張を妨げるため、胸腔ドレーンが挿入されると、ドレーンによる影響で呼吸を抑制し、排痰困難となりやすい。</p> <p>これらは、がんだけでなく特発性や感染性であり、治療の併発である。早期に発見をし、不適切な安楽の管理を</p>

前の項目で登場した看護問題について看護計画の例をここで示しています。観察計画(O-P: Observation Plan)、治療計画(T-P: Treatment Plan)、教育・指導計画(E-P: Education Plan)、それぞれについて、具体策を紹介するとともに、その根拠や注意点を学びます。この「看護計画の立案」に至るまでに学んできた内容(疾患の基礎的知識、アセスメント、看護問題など)が踏まえられていることを念頭に置いて、参照してみてください。

第1章

呼吸器疾患患者の看護過程

01 肺がん	012
02 肺炎	031
03 気管支喘息(患児)	049
04 気管支拡張症	067
05 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	083

第2章

循環器疾患患者の看護過程

06 心筋梗塞(狭心症)	100
07 心不全	121
08 心室中隔欠損症(患児)	138
09 大動脈解離	155
10 高血圧	170
11 心臓弁膜症	181

第3章

血液・造血器疾患患者の看護過程

12 急性リンパ性白血病(患児)	198
13 悪性リンパ腫	214
14 多発性骨髄腫	232
15 再生不良性貧血	249
16 川崎病(患児)	262

第4章

消化器疾患患者の看護過程

17 胃がん	276
18 胃・十二指腸潰瘍	290
19 潰瘍性大腸炎	311
20 クロウン病	329
21 食道がん	344

22	肝がん	364
23	肝炎	377
24	肝硬変	394
25	胆石症	409
26	膵がん	422
27	大腸がん	435
28	イレウス・腸閉塞	450
29	腸重積症	462

第 5 章

内分泌・代謝疾患患者の看護過程

30	1型糖尿病	478
31	2型糖尿病	498
32	甲状腺機能亢進症(バセドウ病)	516

第 6 章

脳・神経疾患患者の看護過程

33	くも膜下出血	526
34	脳梗塞	537
35	脳出血	552
36	脳腫瘍	563
37	重症筋無力症	577
38	多発性硬化症	591
39	パーキンソン病	605
40	筋萎縮性側索硬化症	620
41	てんかん	636
42	認知症	652

第7章

運動器疾患患者の看護過程

43 脊髄損傷	671
44 腰椎椎間板ヘルニア	689
45 変形性関節症	703
46 先天性股関節脱臼(発育性股関節形成不全)	717
47 大腿骨頸部骨折	731

第8章

腎・泌尿器疾患患者の看護過程

48 慢性腎臓病	747
49 急性糸球体腎炎	765
50 ネフローゼ症候群	778
51 尿路結石症	789
52 膀胱がん	805
53 前立腺がん	821

第9章

女性生殖器・婦人科疾患患者の看護過程

54 子宮がん	844
55 子宮筋腫	864
56 乳がん	877
57 卵巣がん	891

第10章

自己免疫疾患患者の看護過程

58 関節リウマチ	913
59 多発性筋炎・皮膚筋炎	929
60 全身性エリテマトーデス	943

第11章

感染症患者の看護過程

61 肺結核	957
62 MRSA感染症	972
63 HIV感染症	987

第12章

皮膚疾患患者の看護過程

64 熱傷	1002
65 アトピー性皮膚炎	1018

第13章

眼疾患患者の看護過程

66 白内障	1033
67 緑内障	1046
68 網膜剥離	1059

第14章

耳鼻・咽喉疾患患者の看護過程

69 喉頭がん	1070
70 舌がん	1084

第15章

精神・神経疾患患者の看護過程

71 神経症性障害	1106
72 双極性障害(躁うつ病)	1118
73 統合失調症	1131
74 アルコール依存症	1148
75 神経性無食欲症／過食症	1166

INDEX	1182
-------------	------